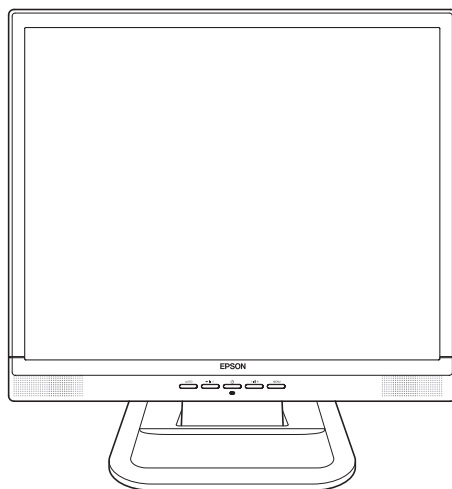


EPSON

19型液晶ディスプレイ

取扱説明書



LD1956


ご使用前に


- ご使用の際は、必ず本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

安全にお使いいただくために


本書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。




 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。














障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
---	-------------------------------------







障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項(指示、行為)を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を必ず接地(アース)して使用することを示しています。

⚠ 警告

		<p>交流100V以外の電源は使用しないでください。 交流100V以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。</p>
		<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。</p>
		<p>雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。 感電の原因となります。</p>
		<p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。 ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。 ・ 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。 <p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p>
		<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し、火災の原因となります。 家庭用電源コンセント(交流100V)から電源を直接取ってください。</p>
		<p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源コードを加工しない。 ・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。 ・ 電源コードの上に重いものを載せない。 ・ 発熱器具の近くに配線しない。 <p>電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターにご相談ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。</p>
		<p>本機から異臭や異音がする、発煙するなど、異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p>

警告

 	<p>通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。</p>
 	<p>本機の分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。</p>
	<p>電源プラグのアース端子を接地(アース)してください。 感電の危険があります。 アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。 また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。</p>
	<p>アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。 火災の原因となります。</p>
	<p>アース端子をコンセントに挿入または接触させないでください。 感電の危険があります。</p>

⚠ 注意

		<p>小さなお子様の手の届く場所に設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
		<p>不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
		<p>湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。</p>
		<p>本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 設置する際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 押し入れや本箱など風通しの悪い場所には設置しない。 ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。
		<p>各種コード(ケーブル)は、本書で指示されている以外の配線をしてください。 配線を誤ると、火災の危険があります。</p>
		<p>液晶ディスプレイが破損して、内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、さわったりしないでください。 火傷や化学物質による被害の原因となります。 万一、液体が皮膚に付着したり、目に入った場合は流水で十分に洗い、医師に相談してください。</p>
		<p>本機のスピーカにフロッピーディスクを近づけないでください。 スピーカは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。</p>
		<p>本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。</p>
		<p>連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
		<p>本機を廃棄する場合は、法律に従って正しく処理してください。 液晶ディスプレイに使用している蛍光管(バックライト)には、水銀が含まれています。</p>

▶目次

本書中の表記について	7
添付品の確認	8
本機の特長	9
各部の名称と働き	10
本機前面	10
本機背面	11
使用時の確認事項	12
コンピュータと接続する	13
設置における注意	13
各種コード（ケーブル）接続時の注意	13
接続方法	14
画面の角度を調整する	19
セキュリティロックスロットを利用する	19
電源の入れ方 / 切り方	20
電源を入れる	20
電源を切る	20
本機の省電力機能	21
本機の状態を調整する	22
OSDメニューで調整する	22
ダイレクト調整	23
メニュー画面の詳細	26
デジタル接続時	26
アナログ接続時	29
カラー調整の詳細	32
お手入れ	32
外装	32
液晶パネル部分	32
収納するときは	33
困ったときは	34
修理を依頼する前に	35
機能仕様一覧	36
プリセットタイミング（アナログ接続時）	37

▶ 本書中の表記について

本書では次のような記号を使用しています。

安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号



制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載しています。



本書とは別のマニュアルを示します。
例)『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』:本書とは別に添付されている『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』を示します。



参照先を示します。



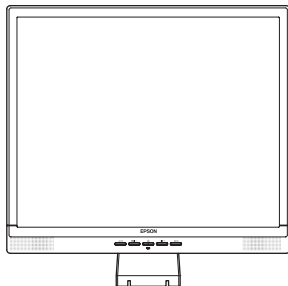
操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

▶ 添付品の確認

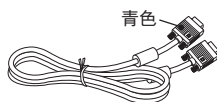
19型液晶ディスプレイ(以降、本機)には、ディスプレイ本体のほかに、次の添付品が同梱されています。すべて揃っていることを確認してください。

万一、不足や不良がございましたら、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧になり、担当窓口へご連絡ください。

梱装箱や梱包材は、輸送時などに備えて保管しておいてください。



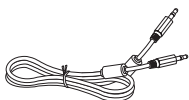
LCD ユニット (ディスプレイ本体)



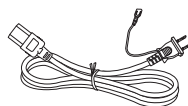
VGA ケーブル



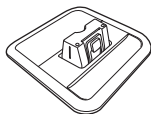
DVI-Dケーブル



オーディオケーブル



電源コード



スタンド



ケーブルホルダー

取扱説明書(本書)

『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』

▶ 本機の特長

本機の特長は次のとおりです。

① 表示

19型液晶パネル(カラーTFT)搭載で、解像度は最大1280×1024(SXGA)、色数は約1670万色表示に対応しています。

② インタフェース

アナログ、デジタルのコネクタを装備し、コンピュータの画像出力に応じた接続ができます。

③ デュアル接続

2つのコネクタを利用して、本機に2台のコンピュータを接続できます。接続したコンピュータの画面は、AUTOボタンを長押し(約2秒間)することでアナログ接続とデジタル接続を切り替えて表示します。

④ サウンド機能

コンピュータと接続して、本機のスピーカからコンピュータの音声を出力することができます。

⑤ 調整機能(OSDメニュー)

On-Screen-Display(以降、OSD)のメニューにより、本機の様々な調整ができます。

⑥ 省電力機能

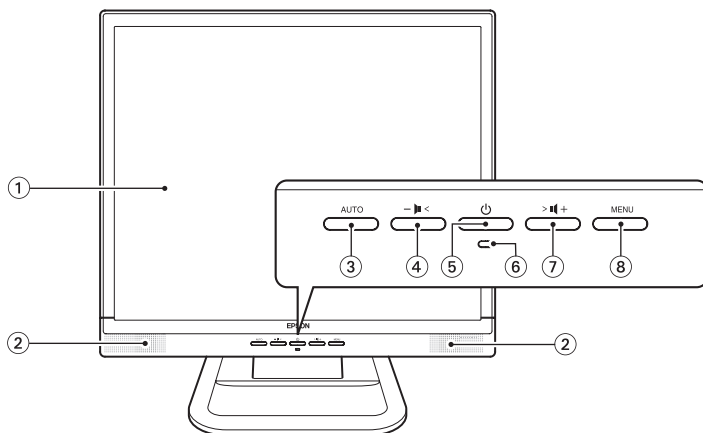
コンピュータからの入力信号がない場合、自動的にスタンバイ状態に移行して消費電力を抑えます。

⑦ DDC2B(Display Data Channel)

本機はDDC2Bに準拠しています。そのため、本機とコンピュータを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピュータに読み込まれ、最適な表示をすることができます。

▶各部の名称と働き

本機前面



① 液晶パネル


本機に入力された信号をもとに、文字や画像などを表示します。

② スピーカ


オーディオケーブルで接続したコンピュータの音声を出力します。

③ AUTOボタン

アナログ接続時に押すと自動画面調整を行います。

 p.24「自動画面調整(アナログ接続時)」


2台のコンピュータと接続している場合、長押し(2秒間)すると表示の切り替えを行います。

 p.25「2台のコンピュータの画面を切り替えて表示する」

メニュー画面の終了にも使用します。

④ -ボタン-><

OSDメニューの表示や調整などを行います。

 p.22「OSDメニューで調整する」

⑤ 電源スイッチ 〇

本機の電源の入/切を行います。


⑥ 電源表示ランプ

本機の動作状態をランプの色で表示します。

ランプ表示	本機の状態
青色点灯	通常動作
オレンジ色点灯	スタンバイ時
消 灯	電源切断時


⑦ +ボタン><+

OSDメニューの表示や調整などを行います。

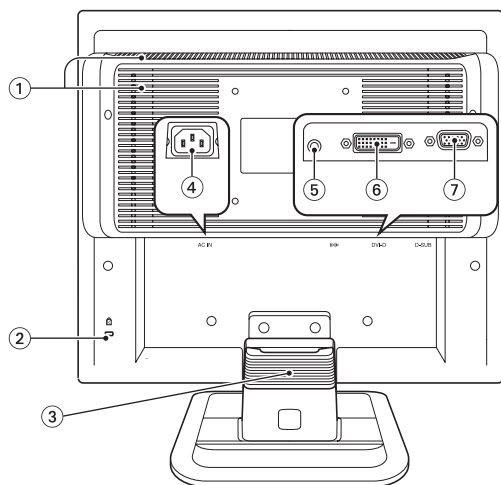
 p.22「OSDメニューで調整する」

⑧ MENUボタン

OSDメニューの表示やページの選択などを行います。

 p.22「OSDメニューで調整する」

本機背面



① 通風孔

ディスプレイ内部で発生する熱を排出したり、外気を取り入れたりします。

② セキュリティロックスロット

市販の盗難抑止ケーブル(ワイヤー)を接続します。

③ ケーブルホルダー

ケーブル類をまとめます。

④ 電源コネクタ AC IN

電源コードを接続して電気を供給します。

⑤ ライン入力コネクタ ((・))

コンピュータのライン出力コネクタと接続して音声を取り込みます。

⑥ DVI-Dコネクタ DVI-D

コンピュータの DVI-D コネクタ、または DVI-Iコネクタと、DVI-Dケーブルで接続して画像を表示します。

⑦ VGAコネクタ D-SUB

コンピュータのVGAコネクタと、VGAケーブルで接続して画像を表示します。

▶ 使用時の確認事項

本機をお使いになる前に、下記の確認事項を必ずお読みください。
また、p.2「安全にお使いいただくために」も必ずお読みください。

- 液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られていますが、ごくわずかに画素抜けや常時点灯する画素が存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。



液晶パネルのドット抜け基準値

本機の液晶パネルのドット*抜け基準値は、5個以下です。これは、全ドットの0.00013%以下に相当します。

*「ドット」は副画素(サブピクセル)を指します。液晶パネルでは、1個の画素がRGBの3個の副画素で構成されています。

本機の場合は、3,932,160個の副画素があります。本書に記載しているドット抜け基準値は、SO113406-2に従って、副画素単位で計算しています。

▶ コンピュータと接続する

本機を使用できる状態にするために、スタンドを取り付けたり、コンピュータと接続する手順について説明します。

設置における注意



- 不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- ディスプレイ本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。
設置する際は、次の点を守ってください。
 - ・ 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に設置しない。
 - ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード(ケーブル)接続時の注意



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
家庭用電源コンセント(交流100V)から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。

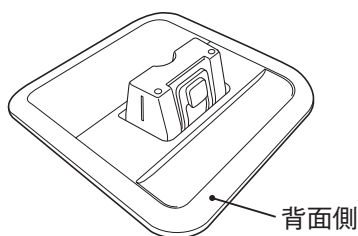


各種コード(ケーブル)は、本書で指示されている以外の配線をしてください。
配線を誤ると、火災の危険があります。

接続方法

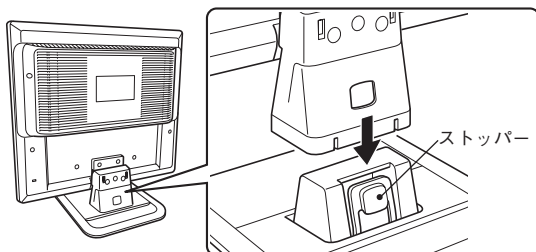
本機の設置とコンピュータとの接続は、次の手順で行います。
接続するコンピュータの『ユーザーズマニュアル』-「コンピュータの設置」も合わせてご覧ください。
コンピュータに拡張ビデオボードやサウンドボードを装着している場合は、各ボードのマニュアルもご覧ください。
接続は、本機およびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。

- 1 設置場所(机などの丈夫で水平な台の上)にスタンドを置きます。



- 2 LCDユニットをスタンドにセットします。

スタンドとLCDユニットの前後を確認し、スタンドの突起部とLCDユニットの接続部を合わせてLCDユニットを差し込みます。



LCDユニットは、「カチッ」と音がして、スタンド背面側のストッパーがLCDユニット背面の穴にしっかりと固定されるまで、しっかりと差し込んでください

3 接続するコンピュータの出力コネクタを確認し、接続方法を選択します。

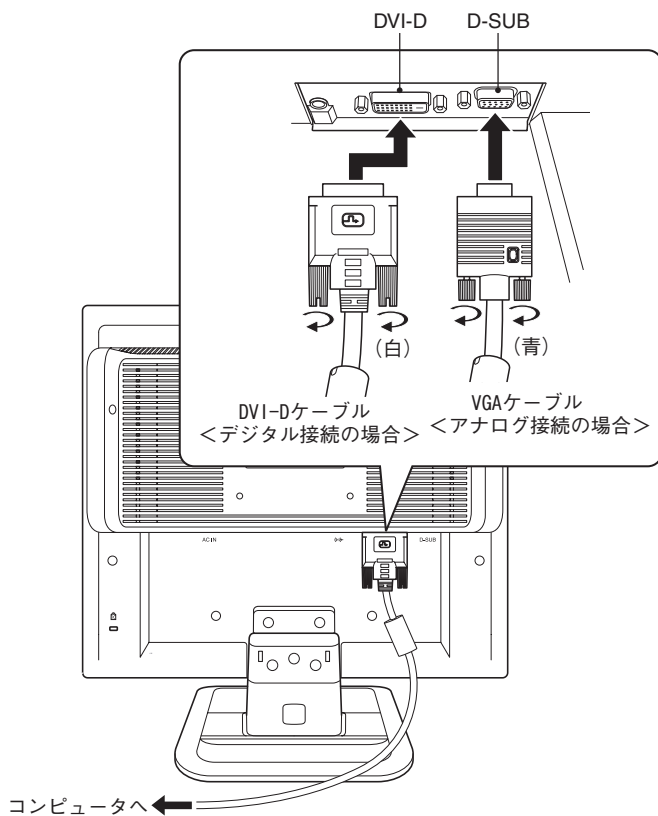
コンピュータ側が次の出力コネクタを装備している場合に、本機と接続できます。

コンピュータの出力コネクタ	接続方法	対応ケーブル
 <DVI-Dコネクタ>	デジタル接続	DVI-Dケーブル
 <DVI-Iコネクタ>		
 <VGAコネクタ>	アナログ接続	VGAケーブル

デジタル接続とアナログ接続では、デジタル接続がより鮮明な画像を表示します。

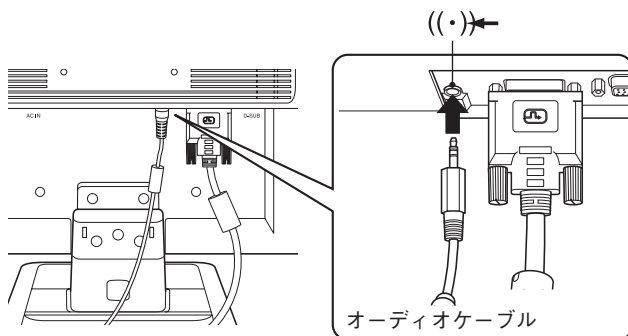
4 選択した接続方法で本機とコンピュータを接続します。

本機のコネクタにプラグを差し込んだら、プラグ両側のネジを回して、しっかり固定します。

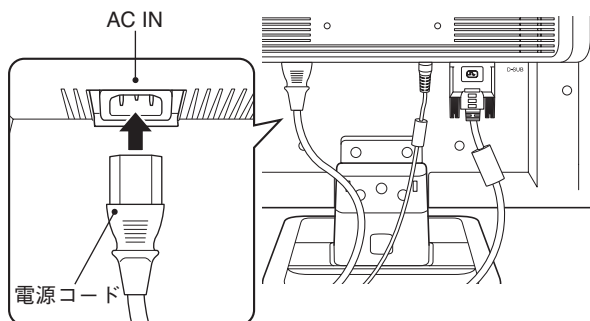


5 本機のスピーカを使用する場合は、オーディオケーブルで本機とコンピュータを接続します。

オーディオケーブルで、本機のライン入力コネクタ(((・))←)とコンピュータ側のライン出力コネクタを接続します。

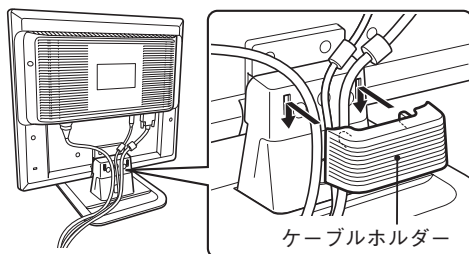


6 電源コードを、本機の電源コネクタ(AC IN)に接続します。



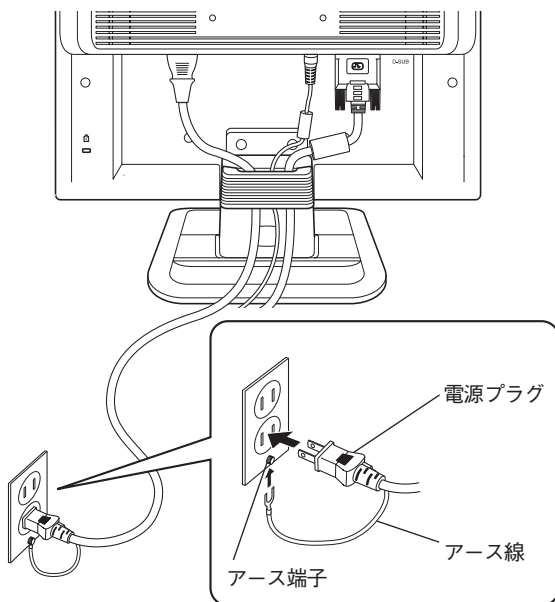
7 ケーブルホルダーを取り付けます。

- (1) ケーブル類をスタンド後部で束ねます。
- (2) ホルダーの突起部をLCDユニットの穴に差し込み、「カチッ」と音がするまでホルダーをしっかりと下に押しつけて固定します。



8 電源コードを電源コンセントに接続します。

電源コードのアース線は、必ずアース端子に接続してください。



これでコンピュータとの接続は完了です。

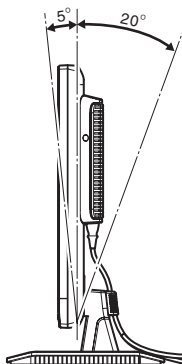
画面の角度を調整する

本機では画面の角度を調整することができます。



- 角度調整の際、液晶パネル面を押さえないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- 角度調整の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。けがの原因となることがあります。

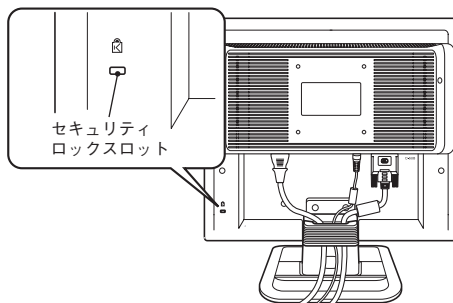
前方に約5° 後方に約20° まで角度を調整できます。



セキュリティロックスロットを利用する

盗難抑止用ケーブルを、本機につなぐことができます。

セキュリティロックスロットに市販の盗難抑止用ケーブル(ワイヤー)を取り付けます。



▶電源の入れ方/切り方

本機の電源の入れ方、切り方と省電力機能について説明します。コンピュータの電源の入れ方、切り方は、コンピュータの『ユーザーズマニュアル』をご覧ください。


電源を入れる

電源を入れる手順は次のとおりです。

- 1 本機の電源スイッチ(⏻)を押して、電源を入れます。**
本機の電源表示ランプがオレンジ色に点灯します。
- 2 コンピュータの電源を入れます。**
本機の電源表示ランプが青色に変わり、画面が表示されます。

電源投入後の作業

アナログ接続で使用する場合は、はじめて表示した際に、自動画面調整を行ってください。

 p.24「自動画面調整(アナログ接続時)」

電源を切る

電源を切る手順は次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源を切ります。**
画面表示が消え、本機の電源表示ランプがオレンジ色に変わります。
- 2 本機の電源スイッチ(⏻)を押して、電源を切ります。**
本機の電源表示ランプが消灯します。

本機の省電力機能

コンピュータの電源が切れていたり、コンピュータ側の省電力機能が働いていたりして、コンピュータから本機への入力信号がない場合は、本機は自動的にスタンバイ(画面表示をしない)状態になります。

本機の各動作状態における消費電力と電源表示ランプの状態は次のとおりです。

動作状態	消費電力	電源表示ランプ
通常動作時	最大45W	青色に点灯
スタンバイ時 (入力信号なし)	2W以下	オレンジ色に点灯 画面表示は消えます
電源オフ時	1W以下	消灯

コンピュータによる省電力機能の詳細は、コンピュータの『ユーザーズマニュアル』-「省電力機能を使う」をご覧ください。

▶ 本機の状態を調整する

本機とコンピュータを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピュータに読み込まれ、最適な表示をすることができます。

コンピュータの機種によっては、画面表示の調整が必要になる場合があります。

OSDメニューで調整する

画面表示位置がずれているので調整したい、画面が暗いので明るくしたいなど、画面に関する設定は、OSDメニューで行います。

OSDメニューで設定できる項目の詳細は、p.26「メニュー画面の詳細」をご覧ください。

工場出荷時は、メニューが英語表示になっています。メニューの言語選択で日本語に変更することができます。ここでは、日本語表示の画面で説明しています。

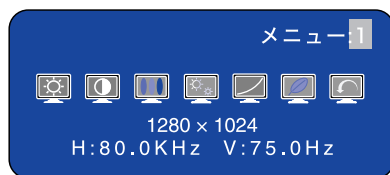
OSDメニューの起動と操作

OSDメニューの起動方法と基本的な操作方法は次のとおりです。

● OSDメニューの表示(起動)

MENUボタンを押すとOSDメニューの画面が表示されます。

＋、－ボタンでメニュー画面のページを送ります。



● メニュー画面の操作

調整したい項目(アイコン)があるページ(メニュー画面)を表示したら、MENUボタンを押します。カーソルがアイコンの列に移動するので、＋、－ボタンで、調整する項目(アイコン)を選択します。

再度MENUボタンを押します。

＋、－ボタンで調整や設定を行います。項目によって調整画面が表示されます。

● 調整画面の操作

+、-ボタンで調整します。

MENUボタンを押すと決定され、前の画面に戻ります。



● OSDメニューの終了

終了方法は、次の2つです。

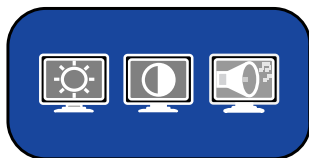
- ・ AUTOボタンを押す
- ・そのまま放置(初期値は5秒)

ダイレクト調整

OSDメニューの画面を起動せずに、簡単なボタン操作で調整や設定を行うことができます。

● ブライツネス/コントラスト/音量調整

メニュー画面を表示していない時に、+ボタンまたは-ボタンを押すと次の画面が表示されます。



各項目の詳細は、p.26「メニュー画面の詳細」をご覧ください。

調整したい項目を+ボタンまたは-ボタンで選び、MENUボタンで決定します。

調整画面が表示されたら、+ボタンまたは-ボタンで調整します。

※ アナログ接続時、カラー調整でsRGBを設定している場合は、ブライツネスとコントラストを調整できません。

※ エコノミーモードを設定している場合は、ブライツネスを調整
できません。

※ 消音設定時は、音量調整ができません。

● 自動画面調整(アナログ接続時)

「自動画面調整」とは、画面表示を自動で最適な状態に調整する機能です。

本機を購入後、はじめてアナログ接続で使用する場合や、アナログ接続のコンピュータを取り替えた場合などに行ってください。

デジタル接続の場合は必要ありません。

自動画面調整では、次の項目を調整しています。

・クロック ・フェーズ ・水平 ・垂直

調整は、次の状態で行ってください。

・本機の電源を入れて30分経過後(動作が安定します)。

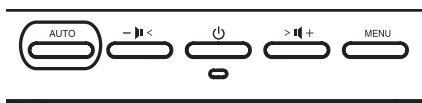
・Windowsデスクトップ画面などを表示した状態。



デスクトップ画面の背景が黒色の場合は、自動画面調整を行っても正常に調整されないことがあります。黒色以外の背景を使用し
て調整してください。

自動調整は次の方法で行います。

メニュー画面を表示していない状態で、AUTOボタンを押す



- 2台のコンピュータの画面を切り替えて表示する

本機には、アナログ、デジタルの各コネクタにそれぞれコンピュータを接続(デュアル接続)することができます。

接続した2台のコンピュータの画面は、アナログ接続とデジタル接続の画面を切り替えることで表示できます。

入力画面の切り替えは、次の方法で行います。

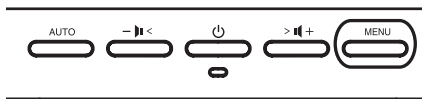
メニュー画面を表示していない状態で、AUTOボタンを約2秒押し続ける

AUTOボタンを押すたびに、アナログ接続とデジタル接続の画面が切り替わります。

- 消音にする

消音設定は次の方法で行います。

メニュー画面を表示していない状態で、MENUボタンを約2秒押し続ける



画面左上に アイコンが付いたメニュー画面が表示されます。
消音設定を解除するには、同じ操作を行います。

- OSDメニューのロック

OSDメニューの設定を変更されたくない場合は、次の方法で設定をロックすることができます。

メニュー画面を表示していない状態で、MENUボタンとーボタンを同時に約7秒押し続ける

画面左上に アイコンが付いたメニュー画面が表示されます。

ロックを解除するには、同じ操作を行います。

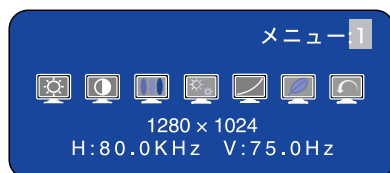
メニューをロックしているときも、画面の切り替えは行えます。




▶メニュー画面の詳細




OSDメニューで表示される各メニューの項目を説明します。
ここでは、項目名を日本語と英語の両方の表示で記載しています。

デジタル接続時

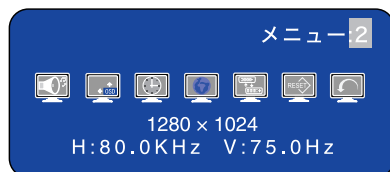
メニュー：1





	調整項目	内容
	ブライトネス Brightness	調整画面を表示し、+、-ボタンで画面の明るさ(輝度)を調整します。
	コントラスト Contrast	調整画面を表示し、+、-ボタンで画面のコントラスト(明暗比)を調整します。
	カラー調整 Color Temp.	5つのカラー調整から、+、-ボタンで選択します。 初期値は  (ユーザー)です。  p.32「カラー調整の詳細」
	シャープネス Sharpness	1280×1024未満の解像度で表示したときの画像を調整します。 1～5(シャープ→ソフト)から、+、-ボタンで選択します。 初期値は3です。
	ガンマ補正 Gamma	次の3つの設定から、+、-ボタンで選択します。 オフ : ノーマル(初期値) Mode1 : ハイコントラスト Mode2 : ダーク

	調整項目	内容
	エコノミー・モード Economy Mode	次の3つの設定から、+、-ボタンで選択します。 オフ：(初期値) Mode1：バックライトの明るさを抑え、消費電力を減らします Mode2：Mode1よりさらに明るさを抑えます。 Mode1 や Mode2 を選択すると、メニュー画面の左上に  アイコンが表示され、ブライトネス(輝度)の調整はできなくなります。
	メニューに戻る Return to Menu	項目を選択していない、ページの移動が可能なメニュー画面に戻ります。

メニュー:2

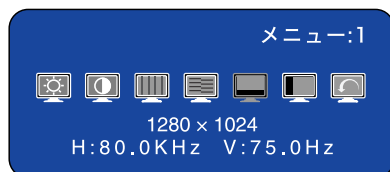








	調整項目	内容
	音量調整 Volume	調整画面を表示し、+、-ボタンで音量を調整します。 ミュート(消音)に設定している場合は、調整画面が表示されません。
	OSD位置調整 OSD Position	調整メニューの表示位置を調整します。 1~5の場所から、+、-ボタンで選択します。 1(左上)、2(左下)、3(中央:初期値)、4(右上)、5(右下)

	調整項目	内容
	OSDオフタイマー OSD Off Timer	調整画面を表示し、+、- ボタンでメニューの表示時間(3秒から60秒まで)を調整します。 初期値は5秒です。
	言語選択 Language	6つの言語(英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、日本語)から、+、- ボタンで選択します。 工場出荷時の設定は英語ですが、初期値ではありません。リセット後も選択した言語で表示します。
	信号入力切り替え Signal Select	アナログ、デジタル、Autoから、+、- ボタンで選択します。 アナログ：アナログ接続の入力信号を表示します。 デジタル：デジタル接続の入力信号を表示します。 Auto (初期値) Autoでは、デュアル接続時にAUTOボタンを約2秒間長押しするたびに、アナログとデジタルが切り替わります。どちらか一方での接続時は、入力される信号を自動で選択します。
	リセット Reset	No か Yes を、+、- ボタンで選択します。 No : メニュー画面に戻ります。 Yes : 言語選択以外のすべてを初期値に戻します。
	メニューに戻る Return to Menu	項目を選択していない、ページの移動が可能なメニュー画面に戻ります。

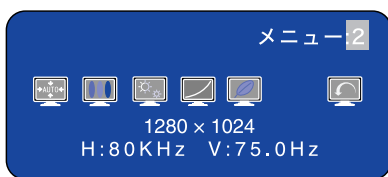
アナログ接続時

メニュー:1






	調整項目	内容
	ブライトネス Brightness	調整画面を表示し、+、-ボタンで画面の明るさ(輝度)を調整します。
	コントラスト Contrast	調整画面を表示し、+、-ボタンで画面のコントラスト(明暗比)を調整します。
	クロック Clock	表示画面に縦縞状のノイズが入っている場合に調整します。調整画面を表示し、+、-ボタンで調整します。
	フェーズ Phase	表示画面ににじみやちらつきがある場合に調整します。調整画面を表示し、+、-ボタンで調整します。
	垂直ポジション V-Position	調整画面を表示し、+、-ボタンで表示画面の上下位置を調整します。
	水平ポジション H-Position	調整画面を表示し、+、-ボタンで表示画面の左右位置を調整します。
	メニューに戻る Return to Menu	項目を選択していない、ページの移動が可能なメニュー画面に戻ります。

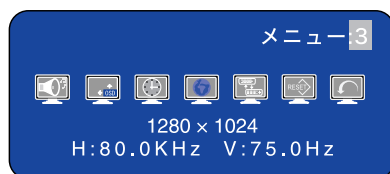
メニュー:2




	調整項目	内容
	自動調整 Auto Set-up	No、Yes、Settingから、+、-ボタンで選択します。 No : メニュー画面に戻ります。 Yes : クロック、フェーズ、垂直ポジション、水平ポジションを自動で最適な状態に調整します。 Setting : オン、オフを+、-ボタンで選択します。オンを選択すると、信号タイミングを切り替えた際に、自動調整を行います。初期値はオフです。
	カラー調整 Color Temp.	5つのカラー調整から、+、-ボタンで選択します。 初期値は  (ユーザー)です。  p.32「カラー調整の詳細」
	シャープネス Sharpness	1280×1024未満の解像度で表示したときの画像を調整します。 1~5(シャープ→ソフト)から、+、-ボタンで選択します。 初期値は3です。
	ガンマ補正 Gamma	次の3つの設定から、+、-ボタンで選択します。 オフ : ノーマル(初期値) Mode1 : ハイコントラスト Mode2 : ダーク

	調整項目	内容
	エコノミー・モード Economy Mode	次の3つの設定から、+、-ボタンで選択します。 オフ：(初期値) Mode1：バックライトの明るさを抑え、消費電力を減らします。 Mode2：Mode1よりさらに明るさを抑えます。 Mode1 や Mode2 を選択すると、メニュー画面の左上に  アイコンが表示され、ブライトネス(輝度)の調整はできなくなります。
	メニューに戻る Return to Menu	項目を選択していない、ページの移動が可能なメニュー画面に戻ります。



メニュー:3



デジタル接続時の「メニュー:2」と同じ画面です。

 p.27「メニュー:2」

カラー調整の詳細

	調整項目	内容
1	9300K	より青みがかかった色調
2	7500K	青みがかかった色調
3	6300K	標準の色調
S	sRGB	sRGB(国際規格)に準拠した色調 選択すると、メニュー画面の左上に  アイコンが表示され、ブライトネス(輝度)、コントラスト、ガンマ補正、エコノミーモードは調整(変更)できなくなります。
	ユーザー	「R(赤)」、「G(緑)」、「B(青)」の各設定値を変更して、お好みの色調に調整できます。 色調を調整するには、R(赤)が選ばれた状態で+ボタン、-ボタンで変更し、MENUボタンで下の色に移動します。

▶お手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

本機の外装の汚れやホコリは、水で薄めた中性洗剤を染み込ませた柔らかい布をよく絞って、軽く拭き取ってください。



制限

- 本機を叩いたり、硬いものでこすったりしないでください。
変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。
変色や変形の可能性があります。

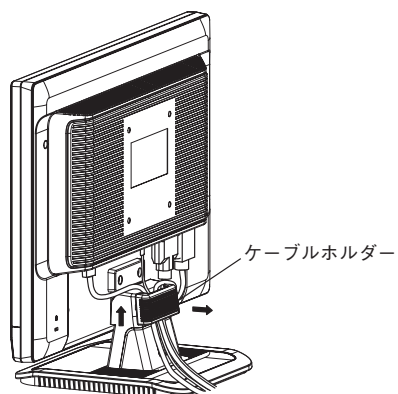
液晶パネル部分

液晶パネル部分は傷つきやすいため、液晶パネルについた汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。水や洗剤などは使わないでください。

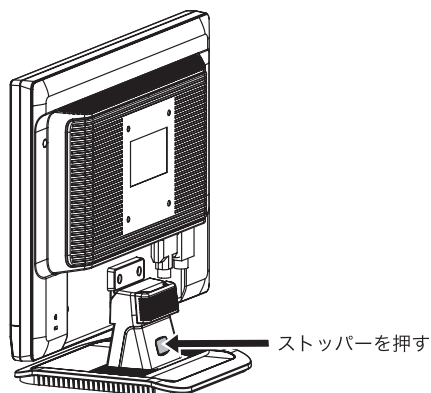
▶ 収納するときは

本機を梱包箱に収納するときは、本体からケーブルホルダーとすべてのケーブル類、スタンドを外してください。

- 1 ケーブルホルダーを、「カチッ」と音がするまで上に押し上げてから、ケーブルホルダーを外します。



- 2 ケーブル類をすべて取り外します。
- 3 スタンドを外します。
スタンド背面のストッパーを押した状態で、ディスプレイ本体を引き抜きます。



▶ 困ったときは

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合、参考にしてください。


下記の対処を行っても改善されない場合は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

現象

画面に何も表示されない。

確認と対処

- 本機の電源が入っている(電源表示ランプが点灯している)かどうか確認してください。
- 電源コード、接続ケーブルなどが、正しく接続されているか確認してください。
- コンピュータの電源が入っているか確認してください。
- アナログ接続時は、コンピュータの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。

 p.37「プリセットタイミング(アナログ接続時)」


- 電源表示ランプがオレンジ色に点灯している場合は、本機がスタンバイ状態に入っています。コンピュータのキーボードやマウスなどを操作してみてください。

現象


画面がちらついたり、乱れたりする。

確認と対処


- アナログ接続時は、コンピュータの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。

 p.37「プリセットタイミング(アナログ接続時)」

- アナログ接続時は、自動画面調整を行ってください。

 p.24「自動画面調整(アナログ接続時)」

- お使いのコンピュータがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を変更してみてください。ただし、設定できない解像度とリフレッシュレートの組み合わせがあります。

 コンピュータの『ユーザーズマニュアル』

修理を依頼する前に

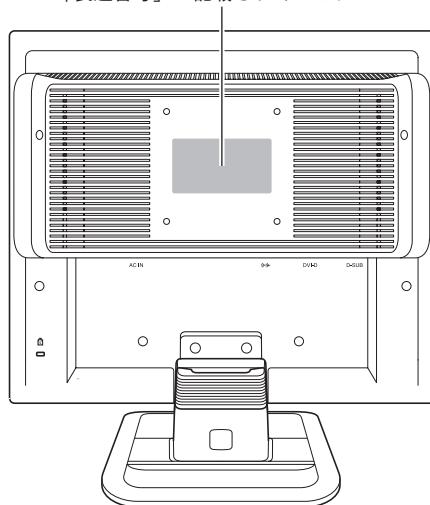
修理を依頼する前に、p.34「困ったときは」およびお使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』-「ディスプレイの不具合」の内容をご確認ください。

それでも問題が解決できない場合は、『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。カスタマーサービスセンターへご連絡ください。修理の受付を行います。

なお、ご連絡いただく前に、本機背面に貼られているシールで本機の「製造番号」を確認しておいてください。修理受付の際に、本機の「製造番号」をおたずねすることがあります。

シールの位置は、次のとおりです。

「製造番号」が記載されているシール



▶機能仕様一覧

サイズ	19.0型(可視域対角約48cm)	
パネル方式	カラーTFT	
画素ピッチ	0.294mm×0.294mm	
最大解像度	1280×1024(SXGA)	
最大表示色	約1670万色	
同期周波数	アナログ	水平:30-80kHz/垂直:55-75Hz
	デジタル	水平:30-64kHz/垂直:59-61Hz
最大輝度	300cd/m ²	
コントラスト比	1000:1	
応答速度	約5ms	
視野角	水平:160° /垂直:160°	
表示画面サイズ(横×縦)	約376mm×約301mm	
調整機能	OSD(On-Screen-Display) OSDメニューロック機能付き	
調整項目	アナログ	輝度、コントラスト、クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置、自動調整、色設定(9300K、7500K、6500K、sRGB、ユーザー)、シャープネス、ガンマ補正、エコノミーモード、音量調整、メニュー位置調整、メニュー表示時間、メニュー言語選択、入力切替、リセット
	デジタル	輝度、コントラスト、色設定(9300K、7500K、6500K、sRGB、ユーザー)、シャープネス、ガンマ補正、エコノミーモード、音量調整、メニュー位置調整、メニュー表示時間、メニュー言語選択、入力切替、リセット
入力信号	アナログ	アナログRGB(同期:セパレート)
	デジタル	デジタルTMDS(DVI 1.0準拠)
入力端子	アナログ	ミニ D-sub 15ピン
	デジタル	DVI-D 24ピン(HDCP対応)
ライン入力コネクタ	ステレオミニジャック	
スピーカ	1.0W+1.0W	
入力電源	AC100V±10% 50/60Hz	
消費電力	45W(最大)/2W(スタンバイ時)/1W(電源オフ時)	
温湿度条件	温度:10~35℃ 湿度:20~80%(結露しないこと)	
外形寸法	約407(幅)×約407(高さ)×約210(奥行)mm	
質量	本体のみ:約4.9kg	
プラグアンドプレイ	VESA DDC 2B	
パワーセーブ	VESA DPMS/DVI DMPM準拠	

プリセットタイミング(アナログ接続時)

本機には、下記の信号タイミングに対応する最適な画面設定があらかじめ登録(プリセット)されています。



- お使いのコンピュータの解像度などを下記の信号タイミング以外に設定したとき、正常に表示されない場合があります。
- 未対応の信号タイミングが本機に入力された場合、「入力信号仕様範囲外」と表示され、本機はスタンバイ状態に入ります。この場合は、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「表示装置に関する設定」をお読みになり、リフレッシュレートを下記のいずれかの垂直周波数に設定してください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数(Hz)
640×480	31.5	60
	37.9	73
	37.5	75
720×400	31.5	70
800×600	37.9	60
	48.1	72
	46.9	75
1024×768	48.4	60
	56.5	70
	60.0	75
1280×1024	64.0	60
	80.0	75

本機を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本機は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。

本機の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本機を使用できないこともあります。このような国では、本機を運用した結果、罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

電波障害について

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

有寿命部品について

液晶ディスプレイには有寿命部品が含まれています。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日8時間、1ヶ月で25日間のご使用で、約5年です。これは、あくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用など、ご使用の状態によっては早期に、あるいは製品の保証期間内であっても、部品交換(有料)が必要となります。

国際エネルギースタープログラムについて



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本機が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

パソコン回収について



当社では、不要となったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきまして、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

商標について

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

EPSON